

2017年8月22日

東京農業大学

日立トリプルウィン株式会社

株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント

東京農業大学と日立キャピタルグループが産学連携の成果としてグローバル GAP 認証を取得

東京農業大学(学長:高野 克己)と日立キャピタル株式会社(執行役社長兼 CEO:川部 誠治/以下、日立キャピタル)のグループ会社で食・農事業を手掛ける日立トリプルウィン株式会社(取締役社長:宇都宮 啓三/以下、日立トリプルウィン)は、両者の産学連携*に基づく具体的な取り組みの成果として、2017年8月8日に農業生産工程管理の国際認証規格であるグローバル GAP(Good Agricultural Practice)認証を日本の農業私立大学およびノンバンクグループとして初めて取得しました。

今後日立トリプルウィンは東京農業大学と共同で取り組んだグローバル GAP 認証の取得ノウハウを生かし、2017年8月中をめどに同認証の取得をめざす農業生産者へのコンサルティングサービスを提供開始し、国産農産物の輸出増や国内での販路拡大に貢献していきます。

日本では農業従事者の減少や食糧自給率の低下などが課題となる中、政府は「未来投資戦略 2017」の中で、日本農業の競争力強化に向け、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会も契機として、グローバル GAP をはじめとした認証の実施および認証取得の拡大を推進しています。流通業界では国際認証を取得している農業生産者からの農産物調達が図られるなど、グローバル GAP 認証に注目が集まっています。2017年3月現在でグローバル認証を取得している農業生産者数は400程度で、さらなる拡大が期待されています。

東京農業大学と日立キャピタルグループは、国内外での食・農分野の発展に貢献するため、2016年6月に産学連携協定を締結し、その一環でグローバル GAP 認証の取得に向けて取り組んできました。具体的には、東京農業大学の宮古亜熱帯農場(沖縄県宮古島市)において、2016年10月から2017年2月にかけて、ヤムイモ(ダイジョ)生産に係るグローバル GAP 認証の取得に取り組んだものです。日立キャピタルが一部出資する株式会社ファーム・アライアンス・マネジメント(代表取締役:松本 武)の生産情報管理システム「ファームレコーズ(Farm Records)」を活用し、認証審査に必要な日々の農作業など生産履歴データをスマートフォンやタブレット型PCなどの情報端末に蓄積することで、クラウド上での農業経営の一元管理を実現しました。

東京農業大学はグローバル GAP を次世代の農業者を育成するための教育ツールとして活用し、農業の担い手育成に取り組んでいます。その試みは本学宮古亜熱帯農場において始まっており、今回の取り組みも本学の学生が中心的な役割を果たしました。

これらの取り組みを通じて、東京農業大学と日立キャピタルグループは日本および東南アジア地域をはじめとした海外への先進農業のナレッジ共有を図り、世界的な農産物の品質向上、農業振興に貢献していきます。

* 2017年6月29日付ニュースリリース『東京農業大学と日立キャピタルが産学連携協定を締結』

<http://www.hitachi-capital.co.jp/hcc/ir/pdf/20160629.pdf>

■グローバル GAP について

「グローバル GAP」は農産物の安全規格の 1 つで農業版 ISO とも呼ばれています。2000 年に国際食品小売業委員会が、同委員会の傘下に GFSI(Global Food Safety Initiative)を設立し、農産物安全標準化(国際調和)を図るため規格化したものです。現在、110 カ国以上の農業生産者がグローバル GAP 認証を取得しており、アジア各国でその取り組みが急速に進んでいます。

■包括連携協定の内容について

- (1) 国内における食・農分野を活用した「地域創成」に向けた連携
- (2) 海外における農業振興を目的とした食・農分野での連携
- (3) 人材育成に関する連携
- (4) その他、食・農分野での発展に資する連携

■東京農業大学について

東京農業大学は「生命」「食料」「環境」「健康」「エネルギー」「地域創成」と農業関連を網羅しておりグローバル化も積極展開する日本最大の農学系総合大学です。世田谷キャンパス内に総合研究所および国際協力センターを設置しており、様々な研究成果を出すとともに国際化にも積極的に取り組んでいます。

■日立キャピタルグループについて

日立キャピタルグループは、「2016～2018 年度 中期経営計画」の日本事業において、食・農分野を育てる分野と位置付け、沖縄県でのいちごの生産・販売を通じたバリューチェーンへの参画や、パートナーとの連携による農業の大規模事業化・6 次産業化への対応など、食・農分野で抱える課題を解決するソリューションの提供をめざしています。

■照会先

東京農業大学 学長室 [担当:高柳]
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘一丁目 1 番 1 号
TEL 03-5477-2202 (直通)

日立トリプルウィン株式会社 食・農事業部 [担当:三上]
〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 3 番 1 号
TEL 03-3503-7060 (直通)

■報道機関お問い合わせ先

学校法人東京農業大学 戦略室 [担当:上田、八木]
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘一丁目 1 番 1 号
TEL 03-5477-2300 (直通)

日立キャピタル株式会社 経営企画部 ブランドコミュニケーショングループ [担当:川島、伊藤]
〒105-0003 東京都港区西新橋一丁目 3 番 1 号
TEL 03-3503-2118 (直通)

以上